

R. Maeda,  
BLR 34-6-F  
Hunt Idaho.

5/10-43



Dr. Keizaburo Hoyama,

15 N.W. 36 - P. 44 - CI

1st Intermunt Co 1905

Camp Livingstone T.A.

149



BY EXAMINED BY



揮復出親をある比見舞と頂々一誠と難言比礼申上  
中より一別似果輝々ある事不我のうとにもありませ  
其度とルトレの志願致しませむと志願其の親はあや  
ヤレボちろ三拾哩ウツイレホんの町に去ししてとれるとウ申  
ひある三月十七の午八時半のバスで所へ行と途中バスの  
アクリンデレトで十ハ名ウハセレジャの中で曲島田福之即試と復  
ぶア真場致し豊田氏は入院致しれ及ぶか生はホムでをれ  
でも二月地床の敷えに居りませむ復のホムはコレには  
正序もとんいし及ぶウチとせありませむ長と采とに居り  
せしませ今は全快致してさる日曜に初めて早天禮拜  
ウチ三四の集會に出席致す事不ませませし及れ共もある  
年四月四日北ホートウレドウセレタースウレ九月八日迄住りまして  
九月廿日當キヤレボ参考糧の自由の内にも神様の比恵めの  
内と今迄相違する事不ませませし及れ其の事ありませむ何  
れと用申を致しませむと志願して近々の内子去て行な事  
と鬼の中よりマレー彼方あるは後に残る事ありと鬼を中より  
Royは近々のアブラドリスタイル *pevina* 此におて行き中よりフランス  
はボストンにアメリカカレニウレタシホウドル働きの居りませむ  
リウチヤドは又相違ホウトタマスヤレタイ子をもてとあり  
中より中寄心も下る



